



たかしの

議会だより

令和4年
8/1
第172号



9月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
	本会議 市長提案理由説明		本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	
4	5	6	7	8	9	10
	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 一般質問 (予備日)		決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (予備日)	
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決			

議会の傍聴について

議会傍聴の際の感染症対策を実施しています。マスクを必ず着用してください。

本会議場の傍聴人数は通常は51名ですが、状況により傍聴人数の設定を変更することがあります。詳しくは議会事務局までご確認ください。

- 6月定例会リポート…………… 38P
- 議決結果一覧…………… 42P
- 一般質問(個人質問)…………… 43P
- 環境厚生常任委員会所管調査… 50P
- 全国市議会議長会表彰…………… 50P
- 政務活動費収支報告…………… 50P

○令和4年第2回定例会（令和4年6月9日～6月27日）会期19日間

○人事

◆太宰府市副市長の選任

⇒任期満了により6月7日に前副市長の清水圭輔けいすけ氏が退任され、6月10日に太宰府市副市長に原口信行のぶゆき氏を選任することに同意しました。
原口氏は、これまで39年間にわたり、太宰府市職員として市の重要施策に携わり、総務部理事などの要職を歴任されました。任期は4年間です。《議案第30号》

○報告

◆令和3年度一般会計予算事故繰越し

⇒水城小学校管理棟等の改築および水城西小学校給食室の改修に係る設計業務費の繰越しを行いました。《報告第2号》

◆令和3年度太宰府古都・みらい基金の運用状況

⇒191万4,920円を基金に積み立てました。積立後の基金残高は、588万442円です。《報告第5号》



水城小学校 管理棟

○専決処分

※今回の専決処分は、特に緊急を要するときに議会の決定を経ずに処分・決定するものです。

◆令和4年度太宰府市一般会計補正予算(専決第1号)

⇒子育て世帯の生活支援を目的として、児童1人当たり5万円の特別給付金を速やかに給付するため、歳入歳出それぞれに1億1,362万8千円を追加し、予算総額は286億5,998万4千円になりました。
《議案第31号》

◆太宰府市税条例の一部を改正する条例

⇒省エネ改修工事を行った住宅に関わる措置として、商業地等に係る課税標準額の上昇幅の現行5%を、2.5%とする改正などです。《議案第32号》

◆太宰府市都市計画条例の一部を改正する条例

⇒地方税法等の改正に伴う、固定資産税関係の特例措置等に連動する関係規定の改正です。《議案第33号》

◆太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

⇒国民健康保険税の課税限度額の改正で、基礎課税額（医療分）に関わる限度額を2万円引き上げ65万円に、後期高齢者支援金等課税額に関わる限度額を1万円引き上げ20万円に改正するものです。
《議案第34号》

○条例

◆太宰府市税条例等の一部を改正する条例

⇒DV被害者等の申し出を行った登記名義人の「住所に代わる事項」が追加されたことにより、固定資産課税台帳の閲覧・証明書交付についても「住所に代わる事項」が表示されるなどの改正です。
《議案第35号》

○請願・意見書

◆「第六次太宰府市総合計画」の策定に関する請願書

⇒太宰府市に総合計画が存在しないため、太宰府市長に「第六次総合計画」の策定を求めるものです。
《請願第2号》

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

⇒2023年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、十分な地方財源の確保等を求めるものです。《意見書第2号》

○令和4年度一般会計補正予算(第3号)

補正予算は、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し審査を行いました。

◆歳入・歳出それぞれ3億9,757万6千円を追加し、総額は290億5,756万円になりました。

費目	補正予算額	主な事業と予算額
企画費	490万円	地域コミュニティ推進費 助成金(星ヶ丘区自治会) 240万円 地域コミュニティ推進費 助成金(大佐野区自治会) 250万円
社会福祉費	3億7,343万円	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費 令和4年度に住民税非課税となった世帯や収入が激減した世帯が対象です。市広報で案内するコールセンターで受け付けます。生活支援課でも相談ができます。
保健衛生費	107万円	予防接種費 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性への風疹予防接種です。
林業費	157万円	森林環境譲与税事業費 太宰府市森林整備実施計画に基づき、伐採等の整備をする上での調査費です。
消防費	200万円	災害対策関係費
小学校費	200万円	小学校管理運営費 寄附金を各小学校に配分し図書室の蔵書を充実させます。
中学校費	1,200万円	中学校施設整備費(下記参照)
保健体育費	63万円	スポーツ推進費 地域における運動習慣定着促進事業委託料です。



補正予算のここに注目!

5月に決定された太宰府市立中学校完全給食実施方針に基づき、中学校給食を導入する予算案が提出されました。民間事業者が調理し食缶に入れて配達する給食を配膳するデリバリー方式で、中学校完全給食の実施に向けて計上された予算に大注目です。

●中学校給食関連予算の概要

配膳室設計費として1,200万円と、7年間の債務負担行為として9億円(工事費や備品・消耗品等購入費1億2,000万円、5年分の調理配達業務費7億8,000万円)です。

※債務負担行為:複数年度にわたって予算を定めることです。





中学校給食関連予算にこんな疑問がありました!

中学校給食関連予算への主な疑問を掲載しています。

● **食缶によるデリバリー方式に決定した経緯は？**

A:市長は予算を調製し執行する立場であり、全力で取り組むとした3月議会の施政方針をうけ、直ちに6月議会に予算として提出しました。

● **初期整備費1億3,200万円は概算とされているが、概算で大丈夫なのか？**

A:平成30年度に見積もったものを現在の価格に修正して算出しています。今後さらに物価が変動する可能性はあります。

● **今後の工程を示されないと事業の全体像が見えてこないのだが？**

A:まず市としてできる準備をします。その後、プロポーザルで事業者を選定し、開始時期などの具体的な計画は決定した事業者との話し合いによって決まってくることになります。必要性がはっきりしたのから順次予算案として提示しています。

● **いつ開始できると想定し、何年の契約を想定しているのか？**

A:期間については受託した選定業者次第となりますが、今回の予算提案では令和5年度の途中から5年間分の額で算出しております。

● **国庫補助を算入して提供方式を比較したら自校式も視野に入るのではないかと？**

A:国庫補助は具体的な計画が伴わないと仮定でしか計算できないこと、センター方式では用地の確保、学業院中なら敷地の状況から調理場新設に現実味がない等の問題があり、補助の試算はしてはいますが実施方針には書き込みませんでした。

● **財源の見込みをどう立てているのか？**

A:昨年度のふるさと納税約9億円のうち用途指定が子育て・教育、市長におまかせ、そして指定なしを合わせると約6億円です。その中で1億5,000万円程がランニングコストには充てられると考えていますが、これを基金とすることも検討中です。また税収の増加や行革の効果で、それぞれ数千万円規模の増加を見込んでいます。

● **この方式で始めたとして、では、その先の改善についてはどう考える？**

A:今の中学2年生にも食べていただくというつもりでスタートするならこの方式というのがありますが、その先も市民、議員の皆さまと話し合いをして改善を続けたいと考えています。また、アレルギー対応など必要な対応を都度とっていきます。

● **本市に食缶によるデリバリー方式で給食を提供できる業者の数は？**

A:3~4社ほどあります。経済効果や食育、安全・安心などの面を勘案すれば、近場の業者の方が望ましく、また対応の一元化という意味で4校を1社に委託する方向で考えています。

補正予算を減額する修正動議は否決されました!

補正予算(第3号)を審査する中で、「修正動議」が委員から提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。



議案の修正と修正動議について

市長から提出された議案の内容に対して、議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合は、その議案の目的範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

修正動議の内容

令和4年一般会計補正予算(第3号)から以下のとおり中学校完全給食に関する全ての費用を減額削除する。

- ・歳入: 公共施設整備基金繰入金1,200万円 → (修正案) 0円
- ・歳出: 学校管理費1,200万円 → (修正案) 0円
- ・繰越明許費: 中学校給食配膳室整備事業1,200万円 → (修正案) 削除
- ・債務負担行為: 中学校給食関係費9億円(令和4年度～令和10年度) → (修正案) 削除

●修正理由

- ・給食方式の選定において「早期実施、費用対効果」といった基本方針が、執行部の実施方針の中では、「早く、安く」になってしまっていること。
- ・給食方式の決定は多角的な検討が必要なこと。
- ・仮にデリバリー(食缶)方式だとしても、委託可能業者の状況が不透明であること。
- ・学校関係者および保護者・生徒を含む市民への説明がないこと。
- ・より一層の熟議の時間が必要であること。

●修正動議への討論

反対 討論

- ・行政と議会は協働していかなければならず、生徒に有意義な学校生活を過ごさせるのが大前提。予算案がどうこうという話ではない。
- ・小学校から継続しての計画的な食育の推進を望む。
- ・待ち望んで今回初めて予算がついたものであり、ゼロにするということは給食問題を白紙に戻すことだと自覚してほしい。
- ・スタートを止めるべきではなく、その勇気などない。この予算編成の重さを考えてほしい。
- ・早期実現こそ最優先事項と考えており、待ち望んでいる市民のために反対する。
- ・動議提出も理解できるが、教職員と子どもを中心に考えて行政が努力することを期待する。

賛成 討論

- ・3月に基本方針を定め6月に補正予算を組む。その過程で市民や議会の意見聴取はない。自治基本条例の協働のまちづくりという目的に违背すると考える。
- ・もう少しリスクの検討など話し合う時間が必要と考える。
- ・中学校給食実現に反対するのではない。現段階ではこの予算に賛成できる理由があまりにも少ない。

●予算審査の流れと結果

まず補正予算原案の審査を行いました。

審査終了後、委員より中学校給食関連の予算を減額削除する修正動議が出されました。

この修正動議を審査し、採決の結果、賛成4、反対13の賛成少数で否決されました。

修正動議が否決されたことにより、中学校給食関連予算を含む補正予算原案の採決を行い、全員の賛成で補正予算原案は可決されました。



6月定例会全会一致で議決した議案

議案番号等	案 件 名	議決結果
報告第1号	令和3年度太宰府市一般会計予算繰越明許費について	—
報告第2号	令和3年度太宰府市一般会計予算事故繰越しについて	—
報告第3号	令和3年度太宰府市水道事業会計予算繰越について	—
報告第4号	令和3年度太宰府市下水道事業会計予算繰越について	—
報告第5号	令和3年度太宰府古都・みらい基金の運用状況について	—
議案第30号	太宰府市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度太宰府市一般会計補正予算(専決第1号))	承認
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第35号	太宰府市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第36号	令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決

6月定例会 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

議案番号等	案 件 名	議決結果	公明党		宰光		新風		市民の声		未来のまち		令和宰光		無党派				
			小島眞由美	堺 剛	陶山 良尚	原田久美子	入江 寿	船越 隆之	門田 直樹	長谷川公成	橋本 健	徳永 洋介	森田 正嗣	木村 彰人	馬場 礼子	宮原 伸一	今泉 義文	神武 綾	笠利 毅
請願第2号	「第六次太宰府市総合計画」の策定に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	×	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
意見書第2号	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決	×	×	×	×	×	×	※	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。また、馬場礼子議員はやむを得ない理由により欠席でした。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。 市民の声：太宰府市民の声 無党派：会派に所属していない議員

予算特別委員会での修正(給食関連予算を減額削除する)動議に対する賛成者反対者一覧

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

案 件 名	採決結果	門田 直樹	橋本 健	長谷川公成	小島眞由美	陶山 良尚	神武 綾	原田久美子	笠利 毅	堺 剛	船越 隆之	徳永 洋介	木村 彰人	入江 寿	宮原 伸一	森田 正嗣	今泉 義文	馬場 礼子	タコスキッド
令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)の修正案	否決	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○

※陶山良尚委員長は委員会における過半数採決では表決権を有しません。

陳 情

陳情第4号	「補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充」を求める自治体意見書採択についての陳情書	環境厚生常任委員会に送付
陳情第5号	女性トイレの維持及びその安心安全の確保について	環境厚生常任委員会に送付
陳情第6号	保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、職員処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	総務文教・環境厚生常任委員会に送付
陳情第7号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	総務文教常任委員会に送付
陳情第8号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	総務文教常任委員会に送付
陳情第9号	児童福祉の環境改善に関する陳情書	環境厚生常任委員会に送付
陳情第10号	こども家庭庁発足に先立つ児童相談所の早期改善に係る意見書の提出に関する陳情書	環境厚生常任委員会に送付
陳情第11号	山口県岩国児童相談所の不作為による要保護児童の自殺に関する陳情書	環境厚生常任委員会に送付
陳情第12号	太宰府市議会への「意見箱」設置に関する陳情	議会運営委員会に送付



問 ブルーシートで
災害対策になるのか

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 豪雨・土砂災害
の恐れの高まる
時期を前に、改めて市の
減災・防災対策を確認し
ておく必要がある。

昨年8月の豪雨により
崩壊した太宰府高校のの
り面だが、今もブルー
シートがかけられたまま
である。さらなる被災の
防止対策はとられている
のか。また太宰府高校に
限らず、市内の危険箇所
の点検はどのように行わ
れているのか伺う。

A 部長 太宰府高
校西側のり面
は昨年の豪雨で約70メ
ートルにわたり崩壊しまし
た。県立高校ですので、
復旧工事は福岡県が責任
をもって行っています。

工事は3つの工区に分け
て進められており、年末
に完成する予定です。市
でも随時状況を確認して
います。市内の危険箇所
については、毎年梅雨を
前に災害発生予想危険箇
所調査を行っています。
今年5月25日に実施
し、危険箇所のほか平成
15年、平成30年の被災地
の現況や復旧状況の確認
を行っています。



太宰府高校のり面

全質問項目

- ◇災害復旧について
- ◇道路整備の進捗について



問 団地内の道路整備で
安全確保を

長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

Q 団地内の道路整
備について安全
確保の観点から3点伺う。

- ① 県道筑紫野筑穂線から
高雄台・梅香苑の団地
を抜け星ヶ丘交差点ま
でを速度超過して通行
する車両に対して減速
を促す手立てはないか。
- ② 高雄南公園から団地内
の市道において、ガス
や水道管工事等による
舗装復旧の状態が悪く
歩行の妨げとなってお
り、道路整備が必要と
考えるが見解は。
- ③ 団地内の歩道の段差を
なくし、より安全に安
心してベビーカーがス
ムーズに通れる歩道整
備が必要と考えるが見
解は。

A 部長 ①車両の
減速対策として
は、標識や路面標示、
時間指定の一方通行、
道路に狭窄箇所や屈曲
箇所を設けるなど、道
路の状況に応じた対応
が考えられます。

- ② 工事等の終了時に現場
を確認していますが、
経年や車両通行による
路盤沈下等で道路の凸
凹も散見されます。補
修が必要な箇所につい
ては、計画的・機動的
な道路補修に努めてい
ます。
- ③ 幹線市道については、
道路より15cm程度高い
マウントアップ方式の
歩道から高さを5cm程
度とするセミフラット

全質問項目

- ◇団地内の道路整備について



方式の歩道へ順次改良
を進めており、安全で
利用しやすい歩道の整
備に努めています。



問 指定管理契約の
今後と課題改善状況

こうたけ
神武 綾
あや
議員



録画映像はこちら

Q 令和4年度で指定管理契約業務

が終了する施設の、来年度以降の管理見通しについて2点伺う。

① 指定管理者制度運用ガイドラインに従って進めると、この4月に募集方法を公募か随意選定のどちらにするか決定することになるが、施設ごとの結果について。

② 3年前の選定においては、施設老朽化や人件費について課題があるという理由で、公募にやらない随意選定が行われたが、これらの課題は改善されたのか。

A 理事 ①現在、施設の担当課において、市民サービスの向上と経費削減等の観点から分析、評価を行っている状況です。

その上で、今まで以上に外部有識者の意見を取り入れながら、募集方式を決定したいと考えており、現時点では募集方式を決定していません。

②施設が置かれている状況や抱えている課題が同様ではなく、これらを適格に捉えることが重要と考えています。各施設の指定管理者の募集方式を検討するにあたっては、指定管理者から提出される報告

書や担当課の評価を踏まえながら、各施設が抱える課題の解消に取り組みます。



全質問項目

- ◇指定管理者制度について
- ◇自治基本条例について
- ◇ヤングケアラーについて



問 本市の高齢者支援の
現状と課題は

とくなが
徳永 洋介
ようすけ
議員



録画映像はこちら

Q 太宰府市の総人口の内、65歳以上

の人口は過去30年間で約3倍に増加し、今後も高齢化が進むことが見込まれている。また、要介護認定者数も同様である。

本市の高齢者支援の現状と課題について3点伺う。

① 高齢者がけがをして来庁できない場合、行政手続きのサポートはあるか。

② 過去5年間の地域包括支援センターの相談件数について。

③ 葬儀後の行政手続きについて。

A 理事 ①日常生活で不安なこと

や困りごとがある場合は、地域包括支援センターや介護保険課が相談に応じています。来所が困難な場合は、まずは電話で相談を受け

ることもできます。

② 令和2年度に地域包括支援サブセンターが開所し、相談件数7106件、相談人数は1288人と大きく伸びています。

部長 ③死亡届を提出する際に、手続きについて分かりやすく記載した「おみやみパンフレット」を渡しています。また、後日来庁の際にお渡しする巡回用紙に

従い、順番に関係課を回っていただくことで、スムーズに手続きができるようになっていきます。



全質問項目

- ◇本市の高齢者支援について
- ◇住居表示について



問 アレルギーや病気の対応は

タコスキッド 議員



録画映像はこちら

Q 小・中学校におけるアレルギーや病気の対応について2点伺う。

①診断書の提出が義務となっているアレルギーや病気にはどのようなものがあるのか。
②診断書の提出に係る手間や費用が家庭の負担になっている現状を把握されているのか。

A 理事 ①文部科学省のガイドラインにより、アナフィラキシー・食物アレルギー・気管支ぜんそく・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎・アレルギー性鼻炎になります。

②家庭での経費の負担について特に調査などは行ってはいませんが、

アレルギー疾患用の医師の所見の記入については、令和4年4月1日から医療情報提供として診療報酬の算定対象となりましたので、提出が必要な家庭の負担が減るのではないかと考えています。



全質問項目

- ◇中学校完全給食について
- ◇小・中学校におけるアレルギーや病気の対応について
- ◇市街化調整区域について

※1件目の質問の答弁冒頭で市長が反問を行い、直ちに2件目に移行したことから、2件目を紙面に掲載しています。



問 広聴機能の充実に向けた取り組みは

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 広く市民の声を集める広聴活動は、以前に一般質問で取り上げたテーマであるが、その後の改善と取り組みに関して3点伺う。

①市民の声を市政に反映する改善は図られたか。
②コロナ禍で機能の低下が懸念される広聴機能の課題について。
③広聴機能の拡充に向けての新たな取り組みについて。

A 副市長 ①ホームページのリニューアルに伴い、全ての記事ページに問合せフォームを設置し、どのページからでもご意見をいただけるように改善しました。寄せられた意見は関係部署で共有し、市政に反映できるように努めています。

②市長と語る会が開催できない状況ですが、ホームページや市民の意見箱からのご意見を中心に広聴業務を行っています。また市長自身、政治家としての日常生活を通じて、常々広聴機能を意識しながら取り組んでいます。

全質問項目

- ◇広く市民の声を集める広聴活動について
- ◇ウィズコロナ時代に本市が目指すべき観光のカタチについて





Q 太宰府市体育複合施設新築工事

の情報開示に関わる非公開処分の取り消しを求め、訴訟において、非開示部分を開示すべき旨の判決が確定した。市が非公開とした処分が違法であると裁判所に認定され、非公開部分を公開することになる。この判決結果を受けて、今後の入札事務において同様の情報公開請求があった場合の本市の対応について伺う。

A 部長 見積書の

見積価格について、今回と同様の情報開示請求がなされた場合には、個別に判断することが必要であると考えています。市が作成した文書を開示することで開かれた市政の推進に努めていますが、個人情報など保護すべき情報も含まれた文書については、太宰府市情報公開条例に基づき非公開とすべき情報が定められており、条例に即した厳格な対応が不可欠になります。今後も情報公開につきましては、より一層適切な対応に努めます。

問 開かれた市政は情報公開の充実から

もりた まさつぐ
森田 正嗣 議員



録画映像はこちら

全質問項目

- ◆太宰府市体育複合施設新築工事の情報公開請求に関わる非公開処分の取消を求める訴訟事件判決（福岡地判令和4年3月30日）と情報開示について
- ◆太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略と太宰府市自治基本条例について



建設中の太宰府市総合体育館



②農家や中小企業を守るための支援に活用できないか。

Q コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について2点伺う。

①学校給食の保護者負担の軽減や、子ども食堂を行う民間団体の活動支援など、子どもの食や健康を守るための活用や、生活困窮者に対する支援に活用できないか。

A 理事・部長 ①

ご提案の交付金の活用については、コロナの状況を見極めながら今後適時のタイミングで必要な補正をします。また、子ども食堂を運営している団体との情報交換会の中で、どのような支援が必要なのかご意見をいただきながら、今後の支援策について考えていきます。

部長 ②現在のところ、原油価格や物価の高騰による農家からのご相談等はありません。今後の支援につきましては、まずは現在行っている経済対策等の支援を継続することとし、

問 コロナ禍における支援状況は

おばた まゆみ
小島 真由美 議員



録画映像はこちら

全質問項目

- ◆コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について
- ◆子どもの権利条例を制定することについて

国の支援や他市の動向を踏まえながら関係団体と連携し、適切な情報交換の下、支援の在り方を含めて調査研究してまいります。



問 太宰府検定を再開しよう

いりえ ひさし
入江 寿 議員



録画映像はこちら

Q 平成24年に始まった太宰府検定ですが、平成30年の第7回を最後に実施されてい

ない。実施されなくなった理由と再開する考えがあるのかを伺う。

また、太宰府検定の過去問題は歴史と文化の町、まほろばの里・太宰府を知る貴重なものであり、地域への愛着、次世代の育成、地域の活性化に役立つ。太宰府検定問題の有効活用案を伺う。

A 課長 公益財団法人古都大宰府

保存協会主催の太宰府検定は、市制30年を期する平成24年に始まりました。600人を超える方が検定に応募しましたが、回を定めることに応募者は減り、平成30年には193人、これが最終回となっています。今後多くの子どもたちが参加できる新しい形を考えたいということでしたので、再開されるなら市も協力を考えたいと思っています。

過去の検定問題は協会のホームページで公開され、市民図書館では閲覧・貸出ができます。小学校での出前講座なども活用されています。



全質問項目

- ◇太宰府検定について
- ◇中学校部活動について



問 本市の日本遺産に関して

うべ まさこ
馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 太宰府市の日本遺産に関して、2015年の認定から今

に至るまでの確認事項と、市民の皆様にも再認識いただく観点から4点伺う。①そもそも日本遺産とは何か。

②本市の取り組みと周知等について。
③ボランティア解説員等の人材育成について。
④再審査となったことを受けての見解と、新たな取り組みについて。

A 課長 ①日本遺産とは、点在する文化財をパッケージ化し、個々をつなぐストーリーを日本遺産として認定し総合的に活用する取り組みを文化庁、観光庁など関係省庁で支援するものです。

②講演等の取り組みや解説サインの設置を実施しています。令和元年度のまちづくり市民意識調査で知っている割合が60.3%あることから一定の効果はあったと考えています。

③本市では昭和60年以来活躍いただいている大宰府史跡解説員制度をはじめ、団体からの要請で講話などを文化財

課の専門職員が行うなど連携を図っています。

④観光資源としての文化財の活用を実践するとともに、地域活性化へ結びつけるために西の都日本遺産活性化協議会が立ち上げられ、多様な取り組みが始まります。

全質問項目

- ◇【日本遺産】について



問 高年齢世帯の外出支援

かざり 笠利 毅 議員



録画映像はこちら

Q 高年齢世帯の外
出支援としての
公共交通のあり方に関し
て3点伺う。

- ① 高年齢世帯へのタク
シー代の補助について。
- ② まほろば号の運行を交
通弱者の移動や社会参
加の手段に限定した運
行にするよう、実際に
議論が進んでいるのか。
- ③ 自動車を運転せずとも
外出できる手段の確保
をどのように働きかけ
ているのか。



A 理事 ①タクシ
ー代の補助につ
いては、近隣市の状況
なども見ながら調査研
究を進めます。

② 市内公共交通の要とし
て、まほろば号の果た
す役割は重要であるこ
とから、高年齢者への移
動支援の視点も含め、
運行の適正化に向けて
調査検討や事業者など
関係機関と協議を行っ
ているところです。ま
た、介護予防教室も再
開されましたので、今
後開催場所や開催時刻
などをまほろば号の運
行に合わせる検討も
行っています。

③ 地域公共交通活性化協
議会においても、まほ
ろば号の運行について
協議が行われていると
ころです。運転免許証
を返納することで外出
の機会が減り、閉じこ
もりやフレイルの状況
を予防するために、一
般介護予防事業などの
情報提供を行い、身近
な公民館等への外出機
会を今後も作ってい
きます。

全質問項目

- ◇ 高年齢世帯の外出支援
について
- ◇ 「新しい公共」について



問 本市の産業と
観光活性化は

はしもと 橋本 健 議員



録画映像はこちら

Q 産業と観光活
化について3点
伺う。

- ① 「梅」プロジェクト推進
事業における梅の生産
量や商品開発の現状に
ついて。
- ② 観光資源の有効活用
と、滞在型観光への注
力について。
- ③ 坂本八幡宮のPRに行
政の応援が必要と思う
が見解は。



A 理事 ①「梅」プ
ロジェクトでは、
福岡県立福岡農業高校
と各企業との共同開発
や、様々な企業が商品
開発を行い、共通のロ
ゴマークを用いてブラ
ンディングを行うこと
もに、ふるさと納税の
返礼品にも提供されて
います。今年は約15
00kgの梅の実を収穫
しました。

部長 ② 史跡解説ボラン
ティアやレンタサイク
ル、古民家ホテルの整備
コロナ減観光ルートの
整備やバスツアー、そ
して日本遺産に関わる
ストーリーを用いて
「点ではなく線による周
遊観光」に取り組み、観

光客の滞在時間や観光
消費額の増加につなげ
たいと考えています。

③ 観光ホームページや人
気ユーザーによる
観光動画を制作し、
市の情報コンテンツを
使用したPRに力を入
れています。さらに、
周辺で活動を行う団体
の事業にも積極的に協
力をを行い、今後も連携
していきたいと考えて
います。

全質問項目

- ◇ 産業と観光活性化
について



問 大型マンション
建設後の道路対策

陶山 良尚 議員



録画映像はこちら

Q 大型マンション
建設や宅地開発
により、人口が増えるこ
とは本市にとってはプラ
スである一方、道路整備
が追いついていない状況
も散見される。そこで、
市内における大型マン
ションや宅地開発の建設
完了後を想定し、早い段
階で周辺地域の課題解決
に向けた取組が必要であ
ると考え2点伺う。

①市内における大型マン
ションや宅地開発の現
状について。
②通古賀区内に建設中の
大型マンション完成後
周辺地域において車の
出入りが増え、混雑や
事故が起こる可能性を
踏まえた、今後の対策
について。

A 部長 ①20戸以
上の規模が大き
いマンションや宅地開
発としては、通古賀地
区のマンションが2棟
(103戸と65戸予定)、
国分三丁目(38戸ほど)
と坂本三丁目(130
戸前後)については戸
建て住宅が計画されて
います。

②マンションの建設によ
り交通量の増加と歩行
者の増加が予想されま
す。マンションの周辺
道路を含めて、通古賀
三丁目地区の交通安全
対策に関して、地元や
警察などと協議を行
いながら、状況に応じた
対策を講じていく必要
があると考えています。



全質問項目

◇市内大型マンション建設及び宅
地開発に伴う周辺地域の環境整
備について



問 「声掛け」で地域を
元気にしよう

今泉 義文 議員



録画映像はこちら

Q 小学生の登下校
時の見守りを行
う中で、地域のコミュニ
ケーションづくりにおけ
る「声掛け」の効果を実感
している。そこで、コ
ミュニティを活性化させ
るためには、地域ぐるみ
で子どもたちに関わるこ
とが大事であるという観
点から2点伺う。

①自治会や各団体への応
援体制づくりについて。
②人が外に出やすくなる
仕組みづくりについて。



A 部長 ①地域の
見守り活動や換
拶等の「声掛け」に多く
の市民が参画すること
が、活気ある地域づく
りにつながるものと考え
ています。毎月、自
治会と情報交換を行う
とともに地域の課題を
共有し、多くの市民や
各種団体の皆様が、
様々な地域活動に参加
しやすい環境づくりを
目指しています。

②誰もが役割を持ち、活
躍できる地域の環境・
美化活動、防犯・防災
活動、福祉活動など、
市民が主体となる取り
組みを推進しています。
今後も、太宰府に住ん
でよかったと感じられ

る、全世代に居場所と
出番のある太宰府を目
指し、市民が地域のま
ちづくりに積極的に参
加できる機会の創出を
図っていきたくないと考え
ています。

全質問項目

◇声掛けによる地域コミュニティ
の活性化について
◇道路状況改善について
◇持続可能な中学校の部活動の
あり方について

環境厚生常任委員会

当委員会が所管する下記の施設を令和4年5月23日(月)に調査してきました。各施設で職場環境改善の課題があるのではないかと意見が出ました。具体的には、職場スペースが狭いということです。市民の方が来られた時の相談窓口の部屋も確保した方がいいのではないかと意見も出ました。当委員会としましては、職場環境改善を推進していきます。

・地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護、福祉、健康、医療などのさまざまな面から総合的に支える窓口です。

○いきいき情報センター1階

・保健センター

健康づくり、健診、予防接種、心の健康相談などの窓口です。

○いきいき情報センター1階

・子ども発達相談室「きらきらルーム」

お子さんの発達の不安悩みについて相談できる窓口です。

○いきいき情報センター2階

・子育て支援センター

子どもたちを遊ばせながら保護者の方がホッと一息できる場所として、

「ばかばかサロン(0～6歳<就学前>)」を開催しています。また、子育てに関する講座等も開催しています。



全国市議会議長会より表彰

長谷川公成 議員が、市議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、全国市議会議長会から表彰されました。(議員15年以上表彰)



令和4年1～3月分の政務活動費収支報告をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。議会だよりには、紙面の都合上、後号に改めて掲載する予定です。



◆編集後記◆

暑中見舞い申し上げます。暑さ厳しき折柄、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の梅雨は、期間17日間と観測史上最短で雨量も少なく、水不足が懸念されている。今、編集後記に筆をおろしています。

この度の本号の表紙を飾るのは、夏に象徴される「ひまわり」であります。本市でも「人権の花運動」として市内の小学校でひまわりを育てることによって「命を大切にする心」「やさしい思いやりの心」などを育む取り組みを行っております。

ウクライナでは、核実験施設の跡地に植えられた象徴的な花。太陽に向かって伸びるひまわりが一面に咲き誇る美しい平和な大地がこれからも広がっていくほしいものです。世界の動乱の終息は、人類共通の願いであります。

現下の世界情勢の変容は、日本経済にも大きな影響を及ぼし、物価高騰やエネルギー等の逼迫など私たちの生活を直撃しています。これからは、世界協調の枠組みの中で平和で安心できる生活の実現を願うばかりです。

議会広報特別委員会

委員長 原田 久美子
副委員長 笠利 毅
委員 堀 利
委員 木村 彰
委員 今泉 義人
委員 馬場 礼子
委員 タコス キッド

(S)